

Liberal Arts Letter for Freshmen



ハイライト： 本日に役に立つものは
University College London(UCL) 留学体験記
「学生と学長との懇談会」を開催
SNS利用上の注意
キャンパスマナーについて

本日に役に立つものは

皆さんはどんなことを思って群馬大学で勉強していますか。ただ単に勉強が好きだからという人もいるでしょうが、本学の学部構成から考えると、教師、医師、看護師、医療技師、技術者など具体的な職業を思い描いて、その準備として勉強しているという人が多数だと想像しています。今、具体的な職業が念頭にない学生であっても、卒業後の仕事のために勉強していると考えていることでしょう。

そのような観点からすると、教養教育科目の多くは、将来まるで役に立ちそうもないと考えている学生も多いかもしれません。ところで、その判断は正しいでしょうか。自分自身の将来、社会の将来を確実に見通すことは不可能です。私が小学生くらいの時にパソコンは登場しました。あの単なる計算機が、今日、仕事のみならず日常生活にとって欠かせないものになるとは、私には全く想像できませんでした。自分の経験からしても、長い人生何があるか分からないもので、思わぬ場面で思わぬことが役に立つものです。

学問が本日に役に立つ時とは？この問に対する回答の一つとして、映画「男はつらいよ」の寅さんの台詞を紹介します。それは8月20日の朝日新聞の文化・文芸欄の記事で引用されていました。浪人中の従兄弟に大学へ行く意義を問われる場面で、寅さんは、「(人生の一大事に直面した時に) 勉強したヤツは、自分の頭できちんと筋道を立てて、はて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ」と語ったそうです。

人生の一大事に直面した時に頼れるもの、それが本日に役に立つものです。歴史の長い学問ほど、きちんと筋道を立てて考えていくやり方を洗練してきました。

私は分子の物理的性質の観点から生物を研究しています。乾燥地域のある種の生物が利用している分子(糖)にトレハロースがあります。トレハロースの性質は生物が乾燥状態を生き抜くのに適した性質を持っています。ただ、似たような性質を持つ糖は他にもあります。トレハロースが確かに一番ですが、他の糖と比較して、その性能の差は「ほんのちよつとの差」です。しかし、現在までの進化の過程においては、このちよつとの差が、極めて厳しい環境になった時期を生き延びるには決定的に効いたと考えられています。太古には、他の糖を利用していた生物もいたのかもしれませんが、生き残れなかったのでしょう。ベストなものが必要なのです。

群馬大学の教養教育科目も、君たちが将来、本日に一大事に直面した時に、自分の頭で考え判断する際に、最も役に立ち、最も信頼できる知識と方法論を提供するものであると、少なくとも教える側は思っています。最近、役に立たないのではないかと、叩かれることが多い教養教育科目ですが、本日に役に立たないのであればとっくに滅びているはずで、哲学のように数千年以上も歴史がある学問は、ここぞという時に役に立ってきたのです。



大学教育・学生支援機構
教育基盤センター運営委員会
教養教育部会長
高橋 浩

目次

本日に役に立つものは	1
グローバルフロンティアリーダー(GFL)育成コース	2
University College London(UCL)留学体験記	2
TOEIC-IP, TOEFL-ITP試験	2
「学生と学長との懇談会」を開催	3
SNS利用上の注意	3
台風等自然災害における休講等について	3
キャンパスマナーについて	4
教務システム関連情報	4

グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース



群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。その一環として、グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムを設置し、教育学部と社会情報学部が連携した「教育・社情グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」、及び医学部と理工学部が連携した「医理工グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」の2コースにより、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の習得を中心とした教育を行うとともに、海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育て

ます。

平成27年度は、40名の学生を選抜し、「サマーセミナー」、「トップリーダー講演会」、「英語の特別授業」、「先端研究紹介講座」や「企業訪問&先輩ゼミ」などの特別プログラムを用意しております。コース所属以外の学生も参加できる場合がありますので、掲示等でご案内いたします。

※コースの詳細は、荒牧キャンパス大会館2階 国際交流課へお問い合わせください。



University College London (UCL) 留学体験記

2015年6月30日～8月31日の日程で、「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に参加した藤本さんに体験記を寄稿いただきました。

◆留学内容

私は、ロンドンのUniversity College London (UCL) に留学しました。UCLはロンドン大学を構成するいくつかの大学のうち、最も歴史のある大学です。歴史的に日本との関係が強く、過去に伊藤博文や夏目漱石なども留学しています。私は、夏休みを含めた2ヶ月間、UCLにて医学系の研究を行ってきました。

◆研究生活

UCLのラボでは、レンチウィルスベクターを用いた研究をしていました。研究室にはイギリス、ドイツ、イタリア、オーストラリア、日本といった、様々な国々から人が集まっていました。お互いの会話は、たとえ日本人同士であっても、すべて英語。英語ネイティブがむしろ少ないこのような環境で、英語の発音や文法の正しさよりも、自分の意見や考えを表現して伝える能力が最も重要だと感じました。

◆観光

ロンドンには世界各国から夥しい数の美術作品や歴史品が集められていて、それらを美術館や博物館にて無料で鑑賞することができます。ロンドンは、NYのブロードウェイと並んで、毎晩、たくさんのミュージカルが公演されています。これらの芸術はどれも非常に洗練されていて美しく、心に響きました。

また、食べものや骨董品が集まるマーケットやテムズ川のクルーズもロンドンならではの体験ができておすすめです。

◆まとめ

私が留学を通じて感じたことは芸術や歴史、文化や自然といった様々なものに触れることで人生が豊かになるということです。私自身は留学するまで、芸術や歴史とはほぼ無縁の生活を送っていました。しかし、ロンドンでそれらに初めて触れることで深く感動し、人生に関するものの見方、考え方が良い意味で変わったと感じています。自ら進んで新しいことに飛び込むことで見えてくるものがあるかもしれません。



医学部医学科3年
藤本アベリーノ

TOEIC-IP, TOEFL-ITP試験

本学は、グローバル化時代の多様なニーズに応えるため、幅広い国際的視野を備え社会で活躍できる人材を育成することを理念として掲げており、その基礎として英語力の強化を図っています。

平成27年度入学生全員（学部生）を対象に、「TOEIC-

IP」を平成28年1月28日（木）に実施する予定です。また、「TOEFL-ITP」試験を平成27年12月中旬に予定しています。

10月下旬以降に教務システム等でご案内しますので、ご確認ください。

「学生と学長との懇談会」を開催



平塚学長が自身の学生時代について話している様子

平成27年7月14日（火）に新入生を対象とした「学生と学長との懇談会」を開催しました。

懇談会出席学生は46名で、大学教職員は平塚学長、窪田理事、後藤理事、高橋教養教育部会長、小林教養教育部会副会長、メディアセンター久米原教授や事務局の部課長が出席しました。

平塚学長から「学生時代を振り返ると体力を鍛える、一生付き合える友人を作る、教養から専門を勉強できるなど人生で一番良い時期かなと思います。時間があるので気持ちさえあればなんでもでき、是非良い先生とめぐりあって、失敗を恐れずに挑戦してみてください。そうすると未来が開かれると思います。」と自らの経験を通じて語りました。また、「群馬大学は地域に根ざして知の創造を

通じて世界の最先端へと挑戦して21世紀を切り開く、そういう大学になろうと活動をしています。みなさんの夢を実現することが結果的に社会の貢献につながると思っていますので、是非我々ががんばっていただきたい。」と語りました。その後、学生から「メディアセンターで古典小説を増やす計画がありますか」、「メディアセンターのラーニングスペース（アゴラ）のインターネット環境を充実して欲しい」など講義や施設整備に関する要望について、意見交換を行いました。

学生からの意見等は関係部署で検討し、改善していきます。なお、この回答内容は学生掲示板に掲示しますので各自ご覧ください。

SNS利用上の注意



総合情報メディアセンター教授
久米原 栄

大学生になると、勉強の仕方も世の中との関わり方も今までとは一変し、受身的なものから積極的なものへ変えていかなくてはなりません。そこで便利なのがSNS（social networking service）です。SNSは双方向性を持っており、皆さんが情報の発信者となるのが可能です。SNSを使うと皆さんから発信された情報は瞬くうちに全世界に拡散されます。皆さんはあっという間にヒーローになることも可能です。でもちょっと待って下さい。ヒーローだと思っているのは自分だけかも知れません。客観的に見ると「ちょっとな」ということもあります。友達やバイト先、あるいは

大学に迷惑をかけている可能性もあります。それから、デマ情報や、他人を誹謗中傷する情報を発信しないで下さい。誰も、皆さんの発信情報を事前にチェックしてくれません。数年前に気軽にやったことを、企業の採用担当者がチェックしていたなんていう笑えない話もあります。便利なツールですので、大人としての自覚を持って利用したいものです。

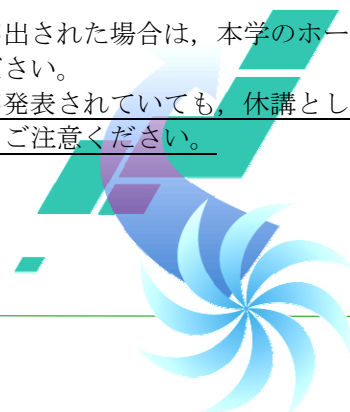
台風等自然災害における休講等について

台風等自然災害により、本学が所在する地域に暴風、暴風雪、大雨、大雪等の警報（特別警報を含む。）（以下「警報等」という。）が発表された場合や不測の事態が生じた場合、学生及び関係教職員の生命の安全確保と事故防止のため、授業及び定期試験を休講等にする場合があります。

休講措置とする場合は、その都度、本学のホームページ等によりお知らせしますので、群馬県内に接近する台

風等の気象情報が出された場合は、本学のホームページ等を確認してください。

※なお、警報等が発表されていても、休講としないこともありますので、ご注意ください。



キャンパスマナーについて

【飲酒について】

お酒は昔から「百薬の長」といわれるように適量であれば、食欲増進やストレス解消、疲労回復など、色々な効用があります。しかし、適量を超えると肝臓や膵臓などの臓器障害にも陥りやすくなります。また、イッキ飲みなどで急激にアルコールを摂取すると血液中のアルコール濃度が急激に高くなり、呼吸中枢が麻痺して最悪の場合は死に至る場合もあります。アルコールを受け付けない体質の者もいますので、お酒の無理強いはもちろん、イッキ飲みは絶対に行わないでください。なお、未成年者の飲酒は成長期にある脳の神経細胞への影響が大きく、成長障害等への危険性が高くなりますので、未成年者は絶対にお酒を飲んではいけません。

【夜間騒音】

大変残念なことですが、毎年、近隣住民等から騒音苦情が大学に寄せられてきます。特に夜間帯での大声、自動車、バイクの音などは注意してください。社会を構成する大学の一員として、近隣住民に迷惑の掛からない行動を心がけてください。

【危険ドラッグ】

危険ドラッグの乱用者が犯罪を犯したり、重大な交通事故死亡を引き起こす事件が後を絶たず、深刻な社会問題となっています。一時の興味本位等の安易な気持ちから大学生活やその後の人生が台無しにならないよう絶対には買わない、使用しないでください。

【駐輪場】

たった1台の違法駐輪のため多くの方が迷惑しています。特に通行帯への駐輪は歩行者、障害者の妨げだけでなく、命に関わる緊急時の救急、消防活動や災害時の避難の妨げにもなります。みんなが駐輪しているのだから自分だっていいだろう、とは思わずに自転車は必ず決められた場所に駐輪してください。

【交通事故の防止】

自動車での交通事故が起きる多くの原因は「前方不注意」、「スピード超過」、「一時停止違反」など初歩的なものばかりです。また、運転中での携帯電話による通話や、メール等の画面確認、送受信操作による事故も多発しております。交通ルールを遵守し、安全運転を心がけてください。

また、2015年6月より自転車の交通ルールも改正され、違反状況によっては、自転車運転者安全講習を受講しなければならない場合もあります。雨天時の傘差し走行、無灯火走行、音楽プレーヤーを使用しながらの運転等は重大事故に繋がりますので、絶対にやめましょう。

【学生の違法行為等に関する処分】

今般、学生による盗撮や無免許運転、酒気帯び運転などの違法行為があり、学則等の規定に基づき、懲戒処分を行いました。本学の学生として、自覚と責任をもって大学生活を送り、日常生活における反社会的な行動は絶対にとらないようにして下さい。

教務システム関連情報

①平成27年度前期の成績について

各学期の成績は、教務システムにログイン後、「履修・成績情報」メニューで参照できますので、各自確認してください。

②履修登録について

履修登録は、教務システムで登録を行うことによるのみ認められます。したがって、履修登録をしていない授業科目（開放専門科目も含む）は、単位は認定されませんので注意してください。

なお、履修登録の際に入力漏れ等がないか「履修時間割表」を必ず確認してください。

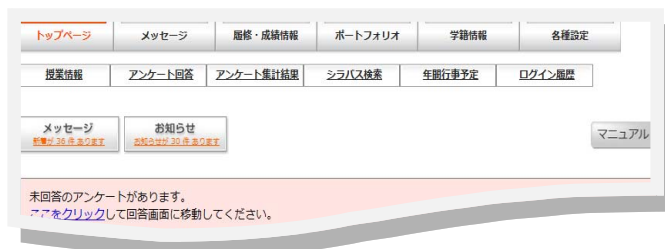
●平成27年度後期履修登録期間

10月1日（水）～10月19日（月）厳守

抽選は、10月7日（水）18時までに入力された科目を対象にします。

③授業評価アンケートについて

各学期に授業評価アンケートを実施していますので、ぜひ大学の授業改善に役立つ意見を投稿してください。



大学教育・学生支援機構

発行元 学務部教務課

〒371-8510

前橋市荒牧町4-2

電話: 027(220)7128

FAX: 027(220)7620

Webサイトもご覧ください。

<http://www.gunma-u.ac.jp/>

[html_campus/for_student_0_1.html](http://www.gunma-u.ac.jp/html/campus/for_student_0_1.html)

